

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 北海道斜里高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒099-4116
北海道斜里郡斜里町文光町5番地1

E-mail shari-z2@hokkaido-c.ed.jp

Website http://www.shari.hokkaido-c.ed.jp/

児童生徒数 男子 102名 女子 84名 合計 186名
児童・生徒の年齢 16歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO
Associated
Schools

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

1 「世界自然遺産・知床」等、地域をフィールドとしたES

(1) 史跡発掘体験学習

1年次生全員対象に、郷土の歴史や豊かな自然に触れさせ、次世代の担い手としての歴史観や郷土観を養う。博物館職員による事前講義を受け、当日は発掘調査現場（チャシコツ岬上遺跡）において、オホーツク文化期の遺構や出土した土器・石器等を実際に見学する。

(2) 知床自然体験学習

1年次生全員対象に、環境保全の意識を高め、畏敬の対象として自然を実感し、野外でのルールを遵守する態度を育成する。事前知識等の講義を実施し、当日は知床横断道路付近のポンホロ沼周辺の散策や、サケ・マス孵化場でのサケの遡上観察と、植樹体験を行う。

(3) 知床自然概論

平成17年度より開講した3年次自由選択科目（学校設定科目2単位）で、世界自然遺産知床の生物、地質、生態系などの学習活動を重ね、1月末に実施される「学習成果発表会」にて研究した成果を発表する。外部講師による授業は、知床博物館、斜里町役場、東京農大、知床海鳥研究会、シマフクロウ研究所、知床ネイチャーオフィス、知床財団などから年間36時間程度。



(史跡発掘体験学習)



(知床自然体験学習)



(知床自然概論)

(4) 知床・産業系列における取組

平成26年度入学生から導入された系列で、地域の自然や産業、歴史文化等を教材とした体験的な学習を通して、思いやりやホスピタリティ（おもてなし）の心を育み、地域の持続発展に貢献できる創造的で実践的な能力を育成することをねらいとしている。

【設置選択科目】：観光一般、観光ビジネス基礎、観光ビジネス応用、観光情報、観光英語、課題研究、生活と福祉、子どもの発達と保育、フードデザイン、生涯スポーツ、知床自然概論
ア 札幌国際大学、斜里町と連携した観光教育

「観光教育等の充実に関する高大・地域連携協定」を札幌国際大学・斜里町・本校の三者間で平成26年に締結した。このような三者間連携は道内初の試み。連携プロジェクトとして「デジタル観光パンフレットの作成」に取り組み、夏季休業中に大学教員と学生の指導の下巡検を実施し素材集めを行った。最終的には英語による説明文と音声をつけ加え、Web上での公開を目指している。普段はiPadminiやMacmini(大学より貸与)を使った授業の他、放課後にfacetimeやquiaを利用したeラーニングによる語学学習も行っている。

イ 地域と連携した商品開発

3年次選択科目における「課題研究」では、JA斜里町や町内の商店と協力して独自の商品開発に取り組んでいる。これまでに、開発した商品がセイコーマート（道内コンビニエンスストア）で期間限定販売された他、一昨年に開発したラーメンは、昨年12月からJA斜里町より生ラーメン「こはる潮味」という商品名で販売されている。現在は斜里町商工会の協力によって町内事業者との連携が一層強まり、町内和洋菓子店とのオリジナルスイーツ企画は毎年12月の特産品イベントの恒例として、広く町民に親しまれている。



(高大連携授業風景)



(デジタル観光パンフレット)



(知っとこ特産品フェア)

2 学校の教育活動全体への波及

(1) キャリア教育

ア カタリ場

NPO法人『いきたす』による、動機付けキャリア学習プログラム。中高生の進路や悩みについて、大学生が対話型のワークショップを実施しながら、人生のきっかけを作り出す取組。1年次生を対象に今年度導入。

イ 異年次混合ゼミ

科目横断的・探求的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び考え、主体的に判断し、課題を解決する資質や能力を身につけるのが目的。年度末に教員向けのアンケート行い開講ゼミを決定し、年間16時間程度で実施。1年間の学習の様子を学習成果発表会で発表。

(2) 評価と検証

各取組における生徒の変容を把握する評価手段として、昨年度より「1枚ポートフォリオ(OPP)」を導入した。生徒の実態把握のために非常に効果的であることから、今年度はより多くの機会を活用し、評価・分析と次年度実践への反映のために役立てている。



(カタリ場)

平成28年度開講ゼミ

ゼミ名	概要
1 歴史文化ゼミ	斜里の歴史やアイヌ文化をテーマに郷土理解を深める
2 保育ゼミ	オリジナル絵本制作と保育園訪問による読み聞かせ
3 合唱ゼミ	基本的な発声や和声について学びながら合唱に親しむ
4 創作ゼミ	小説執筆(相互評価と推敲)。コンテスト応募を視野に
5 メディアゼミ	学校紹介CMや公共マナーCMの作成など
6 英語劇ゼミ	英語を使った演劇の創作と表現
7 「証券」ゼミ	金融に関する講義、株式学習ゲームによるシミュレーション
8 受験対策ゼミ	センター試験・公務員試験等に特化した対策。勉強法研究

知床自然体験学習1枚ポートフォリオ			年 組	氏名
体験前の考え	体験中の考え		体験後の考え	
	(事前学習)	(自然体験の中で)		
体験前後の比較(自己評価)				

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()